

由利本荘市歴史文化拠点施設整備基本方針の概要

現状と課題

由利本荘市内の資料館、美術館の老朽化（展示機能・資料収蔵機能等）
施設を運営する専門職員（学芸員）の不足
資料館相互および関連する施設との連携不足
資料データベースの一元化と長期的な保存管理上の分類が未着手

必要性

歴史や文化の共有と市民のアイデンティティの醸成
過去から学び、先人の歴史や文化を知る
学校教育、生涯教育との連携強化
由利本荘市の文化資源の市外流出を防ぐ

基本理念

由利本荘市の文化資源を掘り起こし活用する施設
市民が集い交流し、コミュニティの形成に資する施設
今日的課題や未来の課題に対して考える眼を養う施設

求められる姿

- ①学校教育と連携し次世代に本市の魅力を伝える施設
- ②生涯にわたり学ぶ意欲を支援し現代的課題に対して考え話し合う施設
- ③調査研究と活用の成果に基づき本市の観光情報を発信する施設

使命（mission）

過去から学び、現在を見つめ、そして未来を考える

機能

調査研究－拠点施設の活動の根幹、施設の基礎体力
資料管理－データベースによる資料の一元管理と保存
展 示－文化資源を人びとの関わりに注目しテーマ展示で紹介
教育普及－調査研究の成果を、講演会や講座などを通して市民に還元

施設整備方針

本市の過去を知り、未来を考える情報を網羅した施設
国宝・重要文化財を公開する基準に適合した施設
埋蔵文化財センター機能を有し、考古資料の保存活用等を担う施設
ユニバーサルデザインで町並みに調和し、災害に強い施設